

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう

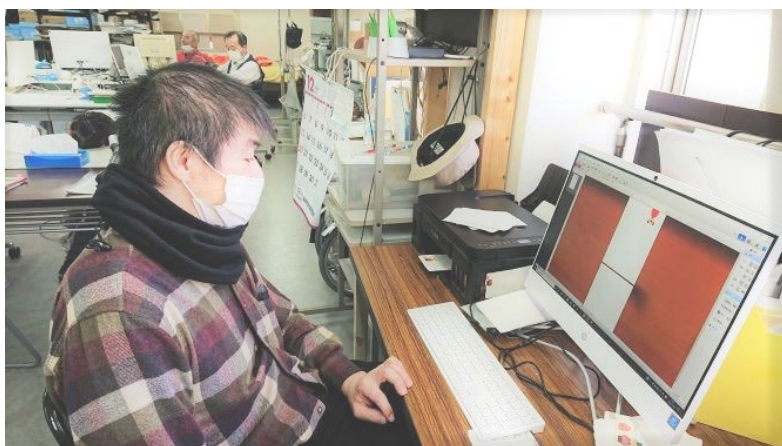
12月14日、に新しく購入したミキサーが届きました。

2021年 1月号 目次

- ☆新年の挨拶 2
- ☆新年の抱負 3・4・5
- ☆活動報告 6
- ☆工房ブラス 7
- ☆「小野塚、今度は盲腸らしいよ？」
第3回（小野塚） 8
- ☆懐かしの写真アルバム 9
- ☆運営委員会報告 10
- ☆職員募集 11
- ☆寄付のお礼・所長のため息 12



和紙ハガキの印刷の仕事をしています。





～ 新春のご挨拶を申し上げます ～

昨年風の子会は移転問題から年が明け、物件探しにいろいろとあたりましたが、なかなか思う物件が見つからずにいましたが理解あるオーナー様と出会うことになりました。

場所は港区海岸の「平成ビル」。この物件は四方が東京湾が一望でき最高のロケーションですが、難点は狭いビルですので4階5階と借りることができました。今年2月には引っ越し予定です。「狭いながらも楽しい我が家」と心掛けたいです。

昨年2月頃からコロナウイルスが騒がれてきました。世界がパンデミックとなり、世界中がコロナウイルスに苦しみ、暗い1年間でした。

そのため風の子会も行事が行うことができず、ボランティアの方々にはご無沙汰しております。

今年こそ、ボランティアの方々とは触れ合う事が出来ますことを願うばかりです。

そして常に風の子会をご支援下さって頂いていいます方々には厚くお礼申し上げます。

本年も風の子を温かく見守ってくださいますようよろしく願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

理事長 田中あけみ



2021年の抱負

工房

- | | |
|--|-----------|
| 風邪などひかず健康でいよう。 | メンバー掛橋竜也 |
| ハガキの仕事がしたい。 | メンバー野田広一 |
| 頑張る。 | メンバー福島基予子 |
| ハガキをやりたいと内職もやりたいです。 | メンバー朝生孝之 |
| 1年間、体調をくずさない様に、
休まない様に仕事を頑張りたいです。 | メンバー廣瀬依生 |
| コロナウイルス感染が早く収束して欲しいです。
和紙や内職と会報の仕事をしてみたいです。 | メンバー斉藤臣一 |
| 骨を丈夫にしたいです。
あと、ウエス作業をやりたいです。 | メンバー小野田浩 |
| ハガキのでこぼこの裁断をがんばります。 | メンバー矢島邦章 |
- 今年は、新型コロナウイルスの世界的な感染で世の中は、
麻痺状態で風の子会も通常の活動はできませんでした。
外に出ようやクラブ活動も中止になってしまいました。
ボランティアの人ほとんど見えずとても寂しい日が続いています。
私自身も一昨年末に骨折、昨年3月には誤嚥性肺炎と心筋梗塞で
半年も入院してしまい最悪の1年でした。
来年は持病が少しでも良くなり平凡な日々が続く事。 メンバー小熊健

企画①

明けましておめでとうございます。
今年は僕がやりたいことはいっぱいありますが、
ちなみに風の子をもっともっとはりきって
休まないようにして行きたいと思います。 メンバー太田稔

今年の抱負は、健康に注意をしながら、
昨年コロナで出来なかったヘルパーとの外出を多くしたいと思いますので、
今年もどうぞよろしく願いいたします。 メンバー田中 聡

- ①引き続き会報を頑張りたいと思います。
- ②初めて僕は風の子だよりの表紙の担当を来年の1月、3月、5月の
表紙の担当をするのですが、とても自分にとっては緊張と
プレッシャーがありますが、頑張りたいと思います。
- ③来年も引き続きインタビューをしに行くのは緊張しますが
頑張りたいと思います。 メンバー島田龍司

皆さん、こんにちは。柳川敬事です。
今年やってみたいことはいろんな料理の作り方を
覚えたいです。日本料理、フランス料理、中華料理です。
韓国料理、後、スイーツです。 メンバー柳川敬事

2021年おめでとうございます。今年の抱負は1年無事に過ごして、
2022年を迎えることです。それには人に感染させないように、
または自分が感染しないように消毒を心がけていきます。メンバー三木直人

Que sera, sera
Whatever will be, will be
The future's not ours to see
Que sera, sera
What will be, will be

2021年、世界が劇的に改善されるとは思えないけれど、
いつかきっと終息する日が来ると信じて、ケ・セラ・セラ=なんとかなるさ、
で日々楽しくやっついこうよ、という意味。 メンバー小野塚航

企画②

1) 昨年の2月くらいから「新型コロナウイルス」が徐々に感染が広がり、世界各国や日本各地で感染拡大して大流行した。この年の12月17日の1日の東京の感染者数は822人過去最多を更新した。

未だにその治療薬やワクチンは開発されていない。

この冬はコロナウイルスとの我々人間との闘いは続きそうだ！

その対策として【手洗い、消毒、歯磨き、体を清潔にする事、

マスク着用など】を毎日して【人と人との接触】を避け、

私と関わる相手を見ながら状況判断して対面者にも気を使い

自分自身を守り、人間同士が相互に守り合いをしなければ

ならない時代がやって来てしまった。

コロナに感染しない様に気をつけて行くためには、

上記に述べた事を実行しなければならない！

（これは人間の本来の姿ではないが、仕方がない！）

皆様も頑張ってください！

2) 上記の大騒ぎが起き、「東京オリンピック・パラリンピック」が

去年行われる予定だったが、今年に延期となったので、

私を含む日本人はみんな楽しみにしていると思います。

なるべく多くのメダルを獲得して貰いたい！

できればすべての種目を金メダル獲得して欲しい！

しかし本当に開催されるのだろうか？！

メンバーYUKI

2020年は何となくすごしてしまった。

特にメリハリもなくただ、流されているだけの毎日でもあった。

そろそろ年の瀬だという頃に新年の抱負を書いてみよとお達しが出た。

前年の反省を踏まえて翌年の目標を掲げる訳だが、

そこまで大そうな指針は今のところ見当たらない。

今年は新たな事務所に移転することなので、

せめて新たな事務所の位置位は知っておこうと思う。

二度行った事があるが、新天地になっても

現在と変わらぬ環境であって欲しいと思う。

メンバー信高正義

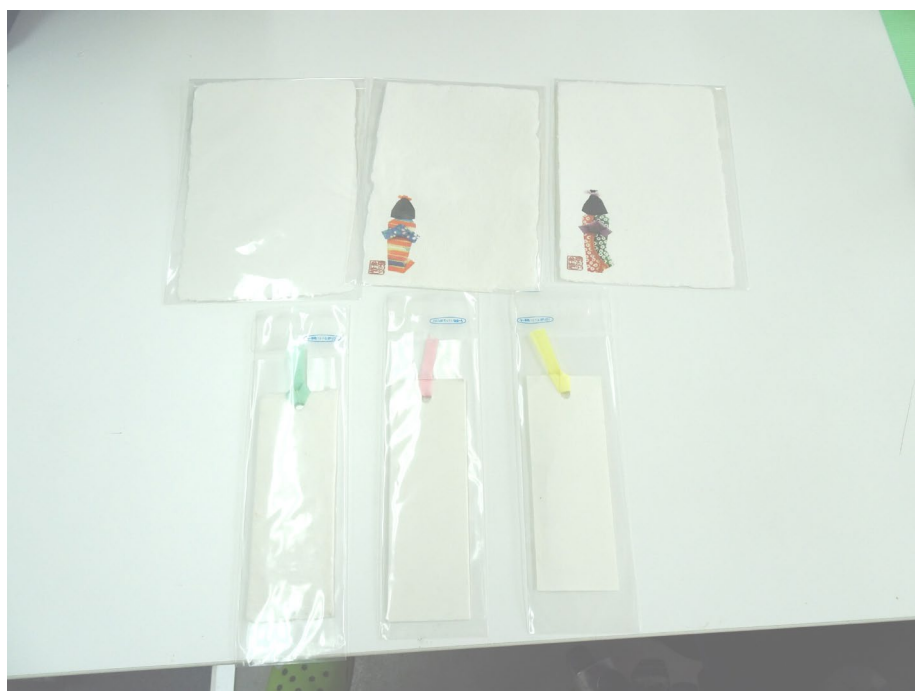


活動報告

（11月16日～12月16日までの活動）

- ①11月27日、朝生さんと野田さんと木村さんの3人でメッセージカードを事業団の方に200枚を届けに行きました。
- ②11月28日、午後から会報の読み合わせをしました。
- ③12月1日、工房の皆さんで会議をしました。内職について話していました。ハガキについても話しをしていました。
- ④12月15日、僕は小熊さんにインタビューをしました。小熊さんはしおりにリボンを付ける作業を行っています。

メンバー島田龍司



ハガキの一番上に穴をパンチで開けて開けたところにリボンを通す仕事をしています。



工房ぷらす ☆

（11月21日～12月21日までの工房報告）

12月の主な活動

- ① 港リサイクル清掃事務所に納めるスマートバックの1回目を制作。
- ② 障害者福祉課が主体となり区内の企業等に配布する予定の風の子会のPRキッドの制作。何度も工房会議を開いて中に何を入れるか、作業の担当を誰にするかを決めました。中に入れる物は、ハガキ2枚、葉2個に決まりました。不要になったハガキを4×11センチに切断する作業を掛橋さんが担当しました。葉に付けるリボンを切る事は広瀬さんが、切る事とハガキをクリスタルパックに入れる事は小熊が担当しました。葉に穴をあけたりリボンを付ける作業は職員が行いました。この作業は年内続行中です。

● 工房ぷらすの編集を担当して感じた事。

とにかく慣れないパソコンを操作する事に必死でいつも×切におわれ思ったような物には出来ませんでした。来年はパソコンを勉強して編集にも時間をかけてまともなものにしたいと思います。

メンバー小熊健



初めてでとまどいながらもやりました！！

神妙に職員の説明を聞いている掛橋さんと野田君



「小野塚、今度は盲腸らしいよ？ 第3回」

麻酔の副作用なのか、その夜はずっと不思議な幻惑に取り込まれていた。恐ろしい形相をしたピエロが部屋の隅に立ってずっと僕を睨みつけていて、僕の身体はベッドから数十cmくらいずっと浮いていた。意識が醒めるとそんな感覚にとらわれ、意識がなくなると眠りにつく。それを交互に繰り返しながらその夜は過ぎていった。

明けた次の日、ふと我に返り下腹部に付いたままの管を触りながら「ああやっぱり夢ではなかったんだ・・・」とぼやきながら目を開ける。溜まった膿瘍を吐き出そうとしているのか、絶えず腹がぐるぐると鳴り続けていた。ぐるぐるがピークを越えると便意を催す。何も食べていないのに襲ってくる便意を不思議に思いながらナースコールで看護師を呼んでトイレに行く。管が絡まないようにしながら、看護師に支えられながら車イスに移ってトイレに行き、トイレで車イスから便器へとまた必死に移る。便は普通の固形ではなくほぼ液体のものがブシャーっと出るだけで、しかもその色がみどり色なものだからグロテスクさが増した。トイレを終えてベッドに戻り、一息ついてしばらくするとまた腹がぐるぐると鳴り始める・・・そんなふうにして絶食期間が4日続いた。

手術から4日後の7月30日、ようやく絶食解禁となった。小皿と主食と味噌汁とお粥という病院食は、味はともかく栄養バランスが考えられていて、そして少し控えめな量ではあったけれど、久しぶりに口にすることは本当に嬉しかった。摂食することで便も普通の固形に戻っていった。けれども今度は血尿が出るようになった。尿道カテーテルを通して流れる赤い尿を見るたびに心が萎えた。その2日後の8月1日、膿瘍がほぼ排出されたようでドレーンが抜かれることになった。腹に1週間挿入されたままだった管を医師がすぽっと抜いた瞬間は爽快だった。その翌日には尿道カテーテルも取れ、血尿も徐々に回復していった。あとは抗生剤投与のための点滴1本となり、かなり身軽になった気がした。



病室にて

第4回（2月号）につづく

小野塚 航



風の子・なつかしのアルバム・20周年パーティーの写真



皆さん、若いね。僕たちこれから45周年・50周年
がんばります。よろしくお祈いします
この写真を選んだ理由は、1月新年号でお祝いのため、この写真を選ん
でみました
これは、僕が風の子に入る前の写真です

メンバー 田中 聡



～ 運営委員会より ～

運営委員会とは、会長に選任された運営委員で構成され、会の運営に関することを話し合っ
て決める機関です。運営委員にはメンバーも職員もボランティアも含まれていて、月
に1度集まって様々なことを話し合っています。

2020年12月の運営委員会内容

• 移転問題

→引っ越し荷物の取捨選択について話し合った。

• コロナ対応

→主治医のいないメンバーのコロナ対策の判断を囑託医がしてく
れることになった。

今後毎日昼前に検温し、記録することとなった。

• 職員状況

→職員の退職予定の報告があった。職員募集がより切実に、逼迫
しているという現実が再認識された。

• 防災備蓄品

→購入したランタン、マット、寝袋が紹介されたが、マットと寝
袋についてはコストに見合うものなのか、という意見が出たた
め再検討することになった。

• 寄付について

→2社から物品寄付の申し出があった。

• キャブについて

→保険が更新できないキャブをどうするか話し合った。

これらについて話し合いました。

文責 運営委員・小野塚



風の子会職員募集

応募方法 電話で申し込み

03-6809-4001 風の子会高浜生活実習所 担当 井出

選考 履歴書と実習2～3日（実習手当、交通費支給します）面接

募集要項 以下の2件

1 職種 生活介護支援員（フルタイム）

勤務内容 身体障害者の通所施設（風の子会高浜生活実習所）における、送迎車両の運行、障害者介助、障害者の日課作業等の援助、実習所運営

資格 普通自動車運転免許、その他資格不問、経験不問

男子 1名（64歳以下）定年が65歳のため

勤務日時 日祝木曜を除く週5日勤務、1日8時間（夏、冬休みあり）

給与 230,750円～241,940円

基本給（初年）196,250円～207,400円（採用時年齢による）

その後の昇給 毎年4月

業務手当 月 2,000円

処遇改善手当 月 12,500円

運転手当 月 20,000円

給与支払 毎月15日締め、25日支払い

賞与 夏冬 基本給の各2ヶ月分（年4ヶ月）

通勤手当 全額支給

社会保険 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、中小企業退職共済

2 職種 生活介護支援員（パートタイム）

勤務内容 身体障害者の通所施設（風の子会高浜生活実習所）における、障害者介助、障害者の日課作業等の援助、実習所運営

男女それぞれ1～2名（年齢、経験不問）

資格 不問、経験不問

勤務日時 （1）週3日（毎週火、土 + 日祝木曜を除く1日）

1日5時間 10:00～16:00

（2）週4～5日（毎週火、土 + 日祝木曜を除く2日）

1日4時間 11:00～15:00

時給 1430円

通勤手当 実費（日額上限1000円）

給与支払 毎月15日締め、25日支払い



賛助会(寄付)・物品寄付のお礼

賛助会(寄付)ありがとうございます。(11月21日～12月20日)(順不同)
渡辺 三恵子様

物品寄付ありがとうございます。
田中 あけみ様 永井 麻美子様 三木 順子様



所長のため息

新年あけましておめでとうございます。昨年はコロナウィルスの影響で、外出事もほとんど出来ない状況でした。今年もどうなるか分かりませんが、少しでも外出できるような状況になってくれるとありがたいですね。

今年は移転をしなければなりません。移転先でも元気に風の子らしくやっていきたいと思っておりますので、今年も皆様よろしく申し上げます。

5月号で賛助会の募集を行いました。皆様からのたくさんのご寄付ありがとうございます。これまでに集まった賛助会ご寄付は以下の通りです。引き続き募集しています。よろしく申し上げます。

賛助会実績（11月20日現在） 89名 4,183,600円

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

企画編集メンバー

太田 圭子	信高 正義
太田 稔	三木 直人
小野塚 航	柳川 敬事
島田 龍司	幸 高史
田中 聡	

編集人：【高浜生活実習所】生活介護、就労継続支援B型
〒108-0022

東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階

TEL 03(6809)4001

FAX 03(6809)4002

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

e-mail：kazenoko@kazenokokai.or.jp

発行人：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷3-1-17

ヴェルドゥーラ祖師谷102